

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年 3 月11日
【会社名】	株式会社gumi
【英訳名】	gumi Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 川本 寛之
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿四丁目34番 7 号
【電話番号】	03-5358-5322（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 本吉 誠
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿四丁目34番 7 号
【電話番号】	03-5358-5322（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 本吉 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号）

1【提出理由】

連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2022年3月11日

(2) 当該事象の内容

営業外費用（持分法による投資損失）の減少について

2022年4月期第2四半期連結累計期間（2021年5月1日～2021年10月31日）にて、持分法による投資損失を計上していましたが、当社の持分法適用会社である合同会社gumi Cryptos Capitalを通じたgumi Cryptos Capital匿名組合にて、保有する投資先を一部売却したこと等に伴い、2022年4月期第3四半期連結会計期間（2021年11月1日～2022年1月31日）において、持分法による投資損失が減少いたします。一方、VR FUND,L.P.が保有する投資先の時価下落等により、同連結会計期間にて、持分法による投資損失を営業外費用として計上いたします。これにより、同連結会計期間にて持分法による投資損失が減少いたします。

営業外費用（暗号資産評価損）の計上について

2022年4月期第2四半期連結累計期間にて、暗号資産評価損を計上していましたが、当社の連結子会社である株式会社gumi Cryptosにて保有する暗号資産に関し時価評価を行った結果、2022年4月期第3四半期連結会計期間にて、暗号資産評価損を計上いたします。

法人税等調整額（益）の減少について

2022年4月期第2四半期連結累計期間にて、法人税等調整額（益）を計上していましたが、計上していた繰延税金資産の一部取り崩しを行ったこと等により、2022年4月期第3四半期連結会計期間にて、法人税等調整額（益）が減少いたします。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2022年4月期の連結決算に下記のとおり営業外費用、特別損失及び法人税等調整額を計上いたします。

持分法による投資損失（営業外費用）	601百万円
暗号資産評価損（営業外費用）	609百万円
法人税等調整額（益）（法人税等調整額）	177百万円

以 上